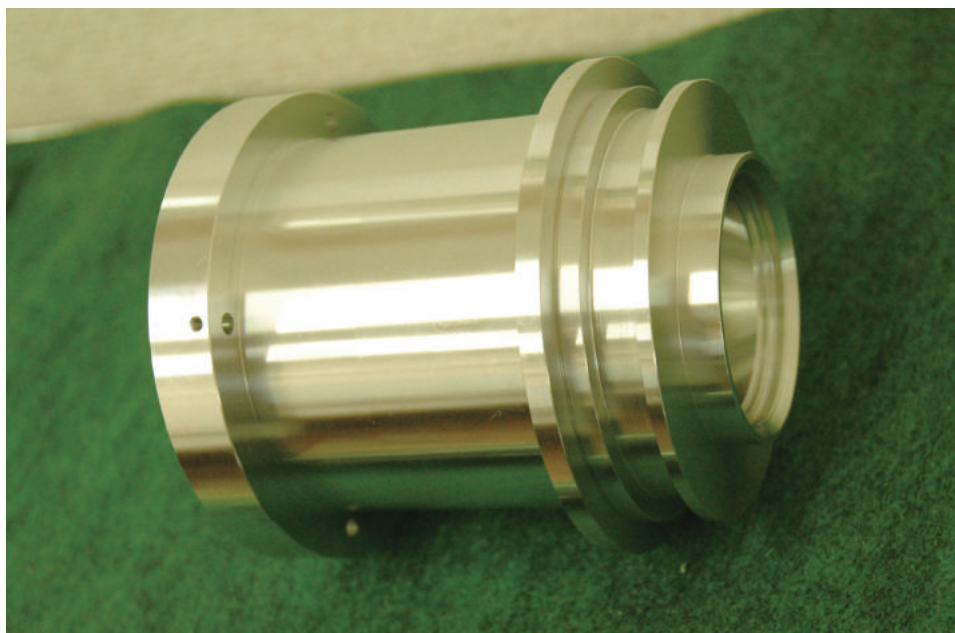


株式会社モリイ製作所

技能持ち味に
難加工に挑み続ける

納期
コスト
オンリーワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



大型の光学機器は真円度などの要求が厳しい

業務内容
アルミの大型部品も歪みなく加工

NC旋盤やマシニングセンター、複合加工機などを活用して主にアルミ材料の加工を手がける。主な製品は、デジタルシネマ向け光学機器や半導体製造装置向けの部品。サイズが大きく、薄肉でゆがみが生まれやすい部品の加工を得意としている。光学機器などの部品は厳しい品質基準で知られる。加工後の歪みや組み立て後の動作を考え、図面にはない部分も配慮した加工が必要になる。治具や加工機械の条件設定など、独自のノウハウが求められる。同社は技能を持った職人の集団で、納期と品質には絶対の自信を持つ。アルミだけでなく、ステンレスの難削材などにもチャレンジしている。

強み
技能だけでなく、高い意識で仕事に打ち込む

どんな仕事にも挑戦するという高い意識で、さまざまな加工に挑戦してきた。『受けたら必ず成し遂げる』がモットー。森井慎治社長は「挑戦を続けるには技能に加えて高い意識が必要だ」と話す。社長自身、サラリーマンから転職後、NC旋盤など機械加工の技能試験に挑み続けスキルアップしてきた。がむしゃらに挑戦するうち、出会った人たちに助けられ事業が成長してきたという。「『いける』と思っただけのもの。とにかく挑戦してみる」と話す通り、失敗も肥やしにして技能を高めて来られたと振り返る。そうした高い志は周りが見ているもので、自ずと仕事がついてくるという。最新設備の導入にも意欲的だ。

自社製品
大型の光学関連部品が中心も幅広い加工に対応

現在、試作など一品一様の製品の生産種

類は約3000種。量産品以上の高精度、適正な価格、短い納期が重要だと説く。実際には厳しい品質管理基準だけでなく、加工方法や条件、治具などオリジナルの工夫が必要になる。とはいえ、匠の技を持つ人間がバラバラに動いているは成し遂げられない仕事も多い。現在の加工はチームプレーで、意思の疎通と、高い意識を持つことが必須。朝礼などでコミュニケーションを密に取りつつ、明るい職場環境を作って皆で楽しみながら難しい加工にチャレンジしている。



優れた加工技術を生かした光学機器部品

皆を引っ張る社長というの厳しい立場。森井社長は「社員からも学びながら、常に目標となる人であり続けたい」と語る。

今後の展望
匠の技を武器に業種を開拓

「『メイドインジャパン』という言葉に誇りを持ち、日本の技術でしかできないものを手がけていきたい」と森井社長は力を込める。自身が好んで使う『匠』の技をこれまで、挑戦を続けることで磨き上げてきた。現在の主な取引先は大型プロジェクトなどの光学関連メーカー。今後は技を生かして差別化できそうな他分野を開拓していきたいという。一方で、人材育成にも注力する。現在、従業員は40代が中心。「若手に技能を継承していかないと将来がない」と、昨年から新卒者の採用を始めた。毎年とはいかないが、定期的に採用を続ける。

COMPANY PROFILE

株式会社モリイ製作所

大阪25

ISO 9001

当社の歴史

昭和40年に現社長の父親の森井吾一氏が起業して旋盤加工を開始。以降、NC旋盤を導入するなど事業を拡大してきました。カメラ、プロジェクターなど光学関連部品の試作や量産を始めるなど成長を続けています。平成9年に株式会社モリイ製作所に改組。平成13年には事業拡大にともない現住所に移転しました。平成17年から現社長の森井慎治氏が就任しています。

なんでも挑戦する明るい企業です。

代表取締役 森井 慎治さん



■主な事業内容

NC旋盤、マシニングセンターによるデジタルシネマ向け光学部品や半導体製造装置、航空機器向けなどの機械加工

■主な取引先(納入先)

光学機器メーカー、機械メーカー、工具メーカー

住所 / 〒579-8063
東大阪市横小路町
6-5-16
TEL / 072-982-3017
FAX / 072-982-4088
創業 / 昭和40年5月
設立 / 平成9年5月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 13名

<http://www.moriiss.com>